



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2019-2020年度 第32週報 No. 2106 2020年(令和2年)2月28日 第2106回 例会記録 3月19日発行

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、3/6～4/3までの例会は休会しております。4月10日以降につきましては、理事会にて決定後、ご連絡致します。



写真提供 小池 将夫

司 会 金森 欣一 直前幹事

点 鐘 白鳥 厚夫 会長

斉 唱 「手に手つないで」
ソングリーダー 河野 明光 会員

四つのテスト 岡部雄一郎 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ビジター紹介 神奈川県 R C 黒田 隆嗣 様

会長報告 白鳥 厚夫 会長

- ・臨時理事会報告
- ・『第7回新春ボーイスカウトチャリティーコンサート』への協賛のお礼状が届いておりますのでご報告申し上げます。

*** 地区行事延期と中止のご連絡 ***

- P E T S . . . 5月27日(水)に延期予定
- 地区協議会 . . . 6月14日(日)に延期予定
- R Y L A . . . 中止
- ホノルル国際大会 . . . 中止



2019-2020年度 RI会長 マーク・ダニエル・マローニ



第2590地区 ガバナー 轟 淳次

会 長	白鳥 厚夫	会 計	白井 康夫
会長エレクト	山本 芳弘	副 会 計	渡邊 淳
副 会 長	小山市 康	S A A	友添 辰哉
副 会 長	飯田 泰之	副 S A A	金森 欣一
幹 事	田中 龍太郎	副 S A A	伊東 英紀
副 幹 事	田口 健太郎	クラブ会報	中野 真理

例会日 毎週金曜日 0:30～1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

誕生日祝

伊東 英紀 会員 (3月1日)

西山 潔 会員 (3月4日)



青柳 紀君 ①病院で、“あなたは花粉症です！”安心して出席しました。②我妻先生、今日の出席ニュースだね！

月山 勇君 “コロナだと 思った時には 自粛だね” ご自愛下さい。

山本 登君 本日は、元気高齢者の集会かな。

角野弘幸君 手洗い、うがい、気を付けましょう。

池田広樹君 小山さん、素敵な写真展でビックリしました。

北村大輔君 コロナウイルスさん、早くいなくなって下さい。

2月28日	11件	34,000円
本年度累計		1,372,565円
年度目標進捗状況		-12%

入会記念日祝

赤堀 和人 会員 (3月2日)



第2回クラブ協議会開催

2月28日(金)卓話の時間に於いて、第2回クラブ協議会を開催。各委員会より、今後の活動予定と現在までの進捗状況の報告が行われました。



出席報告

森永 健 出席委員長

会員総数	54名	(35+19)名	
出席会員数	33名	(20+13)名	
出席率	68.75%		
ゲスト	0名	ビジター	1名
前回補正後	83.67%	前々回補正後	85.71%

スマイルボックス

伊東 英紀 副SAA

神奈川IRC 黒田隆嗣様 日頃お世話になっております。今後とも、よろしくお願い致します。

伊東英紀君 誕生日祝い、ありがとうございます。

西山 潔君 お誕生日のお祝い、ありがとうございます。62歳になります。まだまだ元気でいけそうです。

赤堀和人君 入会祝い、ありがとうございます。

白鳥厚夫君 ①本日出席の皆様、出席ありがとうございます。

②本日のクラブ協議会、ご協力お願い致します。

米山奨学金贈呈



米山奨学生 グエン・バン・ドゥク

皆さん、こんにちは。米山奨学生のドックです。

最近、新型コロナウイルスが広がっていますので、どこへも行けません。就職活動をしています、企業説明会が全て中止されました。今はずっと家でんびり過ごしています。

横浜市でウイルスに感染した人が出ていますので、皆さんも気を付けて下さい。

クラブ会員の広場

タウンニュース掲載

2020年3月5日(木)号



ロータリーニュース

RI会長からのメッセージ

2020年3月

3月はローターアクトを祝い月です。この1年は、若き奉仕パートナーたちにとって大きな1年となりました。

昨春、規定審議会が定款におけるローターアクトの地位を高め、国際ロータリーには今やロータリークラブのみならずローターアクトクラブも含まれることになりました。

去る10月には、ロータリー理事会がローターアクトの人為的な年齢制限を取り外し、また世界の一部でローターアクトの成長を阻害している障壁を取り扱うためにいくつかの対策をとりました。

ローターアクトがロータリーの向かうべき未来を示していることを考えると、これは時遅しとも言えます。若い仲間たちに



マーク・ダニエル・マローニー
2019-20年度会長

未来の君主と会う

グレン・アダムス 研究グループ交換

昨年春、85歳になられた日本の昭仁天皇（現上皇）が退位されたとき、40年前に皇居で謁見したときの記憶がよみがえってきた。

門戸を開くべきであるだけでなく、彼らは何よりも夢中になれるようなロータリーの体験を敏感に察知していくべきです。そうすることが、ロータリーの有意義な成長をもたらす最善の方法のひとつなのです。

ロータリーの成長といっても、いろいろな意味があります。奉仕活動、そしてプロジェクトの影響を大きくしなければなりません。しかし、何よりも大事なのは会員増強です。会員が増えれば達成できることも広がります。ローターアクトは、しかるべきときにロータリーへと移行できるだけでなく、ロータリーの何がほかの若者を惹きつけるのかを理解しているので、会員増強の機会をもたらしてくれます。

これまで通りのやり方では、もはやたちゆきません。退会者が出た分だけ新しい会員を入れる、というやり方は解決策ではありません。それでは穴の開いたバケツに水を汲みいれるようなものです。世界各地で起こっている会員数減少の根本原因に対処しなくてはなりません。つまり、会員の積極的な参加が得られていないことと、会員の年齢層の上昇です。

今こそ、抜本的な改革を行うべきです。熱心で多様な会員への障壁が何かはすでに分かっています。その知識を活かして行動すべきです。新たな会員のあり方を創出し、ロータリー入会への新たな道筋を切りひらき、既存のクラブが今あるニーズに応えられていないところでは新しいロータリークラブやローターアクトクラブを設立すべきです。

新しいクラブモデルは、従来のクラブには入会したくない、または入会できなかった人など、今まで以上に多様な人の集まりとつながる機会を生み出します。新しいクラブモデルは大分前から出てきてはいましたが、それを現実のものとするのは地区ガバナーの仕事です。1月の国際協議会で、次期地区ガバナーが独自のクラブモデルを作る演習を行いました。この体験は役立ち、次期地区ガバナーの方々も心の準備ができたことと思います。

しかし、次世代にとってもっとも意味のある新しいクラブモデルを作れるかどうかは、最終的にはローターアクトと若いロータリアンにかかっています。

今後若い世代がロータリークラブに何を求めるのか私たちは分かっているつもりでも、若い人びとの意見にはきくと驚かされることになるでしょう。私たちの仕事は彼らの変革を助けることです。それが世界をつなぐロータリーの成長をもたらすのです。

1978年4月、私はロータリーが派遣する6人の研究グループ交換に参加した。その後にフィラデルフィア地域にある私たちの地区に日本から代表団が派遣される予定になっていた。

日本でのロータリーの地位は高く、6週間の滞在中、私たちは一流のもてなしを受けた。

宿泊は四つ星ホテル、豪華な食事、フロントフェンダーに小さな旗のついた黒いリムジンでの移動。農地や工場、東京の築地魚市場（当時は世界最大）、国会議事堂を見学した。昔ながらの船で江戸川下りをしたときには、そこで釣った魚をさばき、油で揚げた料理が昼食だった。最高裁判所では、判事が自分の法服を喜んで私たちに着させてくれた。相撲部屋では、ビールと魚2匹、ワカメ、ハマチの刺身、出汁、豆腐、餅、麺という典型的な力士の昼食をいただいた。

一番思い出深い遠足は、東京からの電車で始まった。集落や田園を走り抜け、山の近くまで来たところで、3台の黒タクに分乗。険しく曲がりくねった道を上った後、ケーブルカーに乗り換えて広大な杉の森を越え、青々とした芦ノ湖で下車。17世紀の船を模した遊覧船で湖を渡った。翌朝の日の出時には、雪を冠した富士山の、息を飲むような情景にうっとりした。

当時はまだ皇太子だった昭仁殿下（父上であった昭和天皇はその後11年間君臨された）との待望の謁見は、皇居内の松材パネルがほどこされた部屋で行われた。皇太子が入室されると、ロータリーのホストの方々が恭しくお辞儀をしたので、皇室マナーの速習講座のごとく、私たちがそれに倣った。昭仁殿下は無地のブルーグレイのスーツと白いシャツ、濃い色のネクタイ姿。英語は流暢だが言葉を慎重に選びながら、穏やかな口調でお話しになった。当時の私の日記にはこう書かれている。

「私たちが年齢順に紹介されると、私たち一人ひとりの顔をまっすぐ、ひるまずに見据えられた」

私たちは、漆黒塗のテーブル2台の近くにあった赤い椅子に腰かけた。灰皿が4つ、皇室のマークの入ったマッチ箱、そして銀のトレイの上にたばこのケースが置かれていたが、謁見中に喫煙した人がいたかどうかは覚えていない。対話をしている間、召使いが菓子と緑茶をお盆で運んできたが、その度に皇太子殿下に直接顔を向けることなくお辞儀をした。

日本の印象について殿下に尋ねられたので、日本人の礼儀正しさ、東京の清潔さ、見学した歴史スポット、食した日本食について話した。

日記にはこう記されている。「皇太子は、終始ほとんど表情を変えることがなかった」

私たちがフィラデルフィアから来たことをご存知だった皇太子殿下は、自身が19歳だった1953年にフィラデルフィアを訪問された時の思い出話をしてくださった。

日本人にとっての主な懸念は何だと思われるかと私が尋ねると、伝統、歴史、文化を保存しつつ、それを現代のトレンドやテクノロジーと結びつけることだとお答えになられた。

互いの幸運を祈り、さらにお辞儀をした後で、謁見は終了した。

この対話にテーマがあったとしたら、それは現代において古来の慣習を維持すること、つまり、昭仁上皇が繰り返しお使いになった「調和」という言葉がふさわしいだろう。

ロータリーニュース

◆表紙の写真◆

気持ちよく晴れ、遠くに富士山を望む早春の東京湾八景沖でのイシモチ釣り。コロナウイルスの心配もなく、リフレッシュ出来た一日でした。

【写真提供 小池 将夫 会員】

次回〈4月10日〉の予定

次回の例会開催につきましては、理事会にて決定後、ご連絡致します。

例会4回

2月度出席報告

名譽会員 出席率算除外会員

会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ
青木 保潔	75	75	岡部雄一郎	75	75	角野 弘幸	50	50	山崎 善也	50	50
青柳 紀	75	75	加藤 仁昭	225	75	田口健太郎	100	75	山田 正憲	225	100
赤堀 和人	175	100	金森 欣一	125	75	田中龍太郎	150	75	山本 登	125	100
朝日 達夫	25	25	加野 亮一	150	75	田邊 正彦	25	25	山本 芳弘	125	100
天野 公史	200	75	北村 大輔	100	100	月山 勇	125	100	横溝 亘	125	100
雨宮 和則	0	0	北村 有加	0	0	角田 伯雄	25	25	吉田 隆男	225	50
飯田 泰之	125	100	小池 将夫	50	50	友添 辰哉	100	75	吉橋佐千男	0	0
池田 広樹	100	100	河野 明光	125	100	中野 真理	25	25	我妻 隆邦	25	25
石井亜由美	100	100	小山 市康	150	100	西山 潔	100	75	渡邊 淳	100	50
石川 正三	100	100	佐藤 勝彦	150	100	馬場 佳子	125	75	富居 利貞	0	0
伊東 英紀	100	100	清水 茂夫	100	100	古澤 一憲	125	100			
岩澤 利雄	100	100	白井 康夫	0	0	茂木 知子	100	75			
植田 清司	100	75	白鳥 厚夫	200	100	森永 健	100	75			
鴻 義久	100	100	菅田 哲也	0	0	矢野 修二	175	100			
大橋 秀行	0	0	須永 久一	100	75	山木 幹夫	100	100			

月平均 85.29%